

2018年6月28日

報道関係者各位

学校法人甲南学園

プレスリリース（2018.6.28）

本日、下記にかかるプレスリリースを別添資料のとおり配信いたしますので、ご査収いただき取材についてご検討くださるようお願い申し上げます。

記

OTSUTAYA BOOKSTORE の本が図書館で読める！借りられる！新サービス
～図書館特急「こうのとりのり」を始めました～

○【総合研究所】

公開講演会「神戸と三陸を結ぶ復興ネットワーク」開催のお知らせ <7/7>

○【経済学部】

「プロジェクトゼミ公開プレゼンテーション」実施のお知らせ <7/7>

（講師：株式会社ファミリア 代表取締役社長 岡崎忠彦氏）

《本プレスリリース全体に関するお問い合わせ先》

甲南学園広報部

〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

電話 078-435-2314 FAX 078-435-2546

Email: kouhou@adm.konan-u.ac.jp

プレスリリース配信先：兵庫県教育委員会記者クラブ、神戸市政記者クラブ

以 上

2018年6月28日

報道関係者各位

甲 南 大 学

TSUTAYA BOOKSTORE の本が図書館で読める！借りられる！新サービス 図書館特急「こうのとりのり」を始めました

甲南大学と甲南大学生生活協同組合（生協）は、本学生協書籍部にて販売される図書を、本学図書館において気軽に読むことができ、また借りることのできる新サービス「図書館特急 こうのとりのり」を5月下旬より開始いたしました。

本学では、読書離れが進むとされている今日、学生と本との距離を縮め読書習慣を身につけるために、学生の読書量や図書館活動への参加状況などを評価する制度「KONAN ライブラリ サーティフィケート※」をはじめ、様々な活動に取り組んでまいりました。また、2017年9月には新たな複合施設「KONAN INFINITY COMMONS (iCommons)」を竣工させ、食堂・部室・会議室・スタジオ等のほか、生協書籍部が運営する書店を2店舗（TSUTAYA BOOKSTORE KONAN iCommons、TSUTAYA BOOKSTORE 甲南大学 学友会館）を開設しました。

図書館では、これまでも希望図書購入申請制度があり、学生から寄せられた申請に基づいて蔵書を整備していました。しかし、図書館ホームページにアクセスしなければ申請することができず、もっと手軽に申請することができる方法を検討していました。

新サービス「こうのとりのり」では、実際に本学内のTSUTAYA BOOKSTOREにおいて販売されている書籍を手にとって、読みたいと感じたものを、そのまま店内の所定の本棚におくだけで、1週間ほどで図書館に配架されます。気軽にサービスを利用することができるほか、事前に内容を確認することができる、というメリットがございます。

「こうのとりのり」は今年12月まで試験的に実施し、今後改善ののち、継続化を目指します。
つきましては、別紙ご参照のうえ、取材につきご検討くださるようお願い申し上げます。

※「KONAN ライブラリ サーティフィケート」について（お知らせ）

「KONAN ライブラリ サーティフィケート」とは、成績には現れない学生の力を本学が独自に評価する制度『KONAN サーティフィケート』の1つです。

書物や図書館は知の宝庫であり、問題を解決する知恵袋です。本を好きな学生がもっている潜在的な力を引き出していきます。多くの本に親しむとともに、本の魅力の紹介や図書館ボランティアへの参加、図書館での行事を企画するなど、図書館情報を活用する技能に優れ、図書館を使いこなし問題を解決する力を有すると評価された学生に、「KONAN ライブラリ サーティフィケート」を授与します。

現在、「KONAN ライブラリ サーティフィケート」の一環として、現在、学生による企画展示『横溝正史の金田一耕助シリーズ』を開催しています。

名探偵 金田一耕助が登場する諸作品を、その扉絵を飾ったイラストレーター 杉本一文の作品とともに紹介し、横溝正史の世界観に触れていただきます。図書館 1 階エントランスホールにて、8 月上旬まで開催する予定です。

ご参照：甲南大学図書館ホームページ（http://www.konan-u.ac.jp/lib/?page_id=1583）

《本件に関するお問い合わせ先》

■甲南大学図書館事務室（担当：伊藤・高野）

兵庫県神戸市東灘区岡本 8-9-1

電話 078-435-2731（直通） Email: libadm@adm.konan-u.ac.jp

本プレスリリース配信先：兵庫県教育委員会記者クラブ、神戸市政記者クラブ

以上

第68回 甲南大学総合研究所公開講演会

神戸と三陸を結ぶ復興ネットワーク

13:30~14:15 基調講演：東北の復興と活力あるネットワークづくり
-空間経済学の視点から-

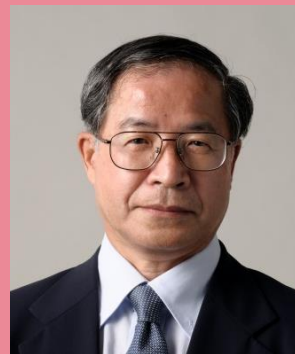
14:20~15:00 対 談：人口減少下の持続可能な復興支援とは

空間経済学は経済の規模や輸送費などを手掛かりに都市間、都市と周辺などの関係を分析する学問です。藤田昌久教授はその視点から東日本大震災で被災した三陸地域の再生策を検討します。講演後半では、持続可能な復興支援のための地域コミュニティの役割やネットワーク形成の重要性について、松田朗岡本商店街理事長との対談から考えていきます。是非、ご参加ください。

* 講師紹介 *

甲南大学 特別客員教授 藤田 昌久(ふじた まさひさ)氏

【略歴】 1943年 山口県生まれ
1966年 京都大学工学部土木工学科 卒業
1972年 ペンシルバニア大学 地域科学博士
1976-1995年 ペンシルバニア大学地域科学部
助教授、准教授、教授
2007-2016年 独立行政法人 経済産業研究所 所長
2007-現在 甲南大学 特別客員教授
京都大学経済研究所 特任教授



【主な著作】『復興の空間経済学：人口減少時代の地域再生』（共著）
日本経済新聞出版社（2018年） 他多数

岡本商店街振興組合 理事長 松田 朗(まつだ あきら)氏

【略歴】 1960年 神戸市灘区生まれ
1982年 大阪音楽大学短期大学部卒業
1999年 アリオリオ開業
2012年2月 岡本商店街復興支援ショップ
「気仙沼まただいん」オープン
2012年6月-現在 株式会社梅は岡本総本舗代表取締役兼務
株式会社気仙沼まただいん暫定代表取締役兼務
2013年5月-現在 岡本商店街理事長



* 対談司会 *

総合研究所所長 稲田 義久(いなだ よしひさ)

日時：2018年7月7日（土） 13:30~15:00

場所：甲南大学岡本キャンパス KONAN INFINITY COMMONS (iCommons) 地下1階 iStage

入 場 無 料

参加申込み不要

定員：先着140名

お問い合わせ

甲南大学フロンティア研究推進機構事務局
(総合研究所 担当)

<http://www.konan-u.ac.jp/souken/>

〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1

TEL. (078)435-2331 FAX. (078)435-2324

e-mail souken@center.konan-u.ac.jp

・兵庫県南部又は阪神地区に暴風警報が発令され、午前11時以降も継続中の場合は、当日の講演会は中止いたします。

阪急神戸線岡本駅、またはJR神戸線摂津本山駅より北西約徒歩10分。なお、駐車場設備はございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。



KONAN Univ. Department of Economics

PROJECT SEMINAR

2018.7.7.sat.14:00-15:30

公開プレゼンテーション

事前
申し込み
不要



場 所

甲南大学岡本キャンパス5号館2階521講義室
事前申し込みは不要です。どなたでもご参加いただけます。

講 師

岡崎 忠彦氏 株式会社ファミリア 代表取締役社長
1993年 甲南大学経済学部卒業

テ ー マ

クリエイティブ経営

プロジェクトゼミとは

甲南大学の卒業生であり、社会の第一線で活躍する企業経営者から提示される研究課題に対して、学生が自ら考えた解決策を提案します。授業は、グループワーク(調査/分析/討議/発表/振り返り)を中心に展開されます。この授業では、教員は、論点を整理したり、考えを深めたりすることを学生に促す役割に徹します。一言でいえば、「教えてもらう授業」ではなく、「自分たちで考える授業」です。

プロジェクトゼミの狙い

この授業の目的は、「学校で学ぶ力」を超えた「社会で学ぶ力」の基礎を学生が身につけること、「先生がいなければ学べない人」を脱して「先生がいなくても学べる人」へと学生を成長させることです。目標は、①発想力 ②論理的思考力 ③分析力 ④判断力 ⑤企画力 にもとづいた説得力のある主張と創造性のある提案ができるようになること、つまり、「問題を発見—解決する力」を身につけることです。

プロジェクトゼミの特長

教えてもらう授業ではなく、自分たちで考える授業

「自分たちで考える授業」ですので、担当教員は、「教える」ことはしません。「論点を整理する」「考えを深める」「方向性を見出す」などのことを学生に促すための問いを示す、「instructor」あるいは「navigator」に徹します。

成長を促す、少人数でのグループワーク

2つのクラスで計20名程度の授業で、1グループ5名程度の少人数で調査・分析・討議・発表・振り返りなどのグループワークを行います。自分とは異なる意見に知的な刺激を受けながら、全体として一つのものをまとめあげるプロセスは、学生の力を必ず伸ばします。

社会の第一線で活躍する経営者との熱い討議

普段の大学生活では接する機会のない、社会の第一線で活躍する経営者と熱い討議を交わせることも、この授業の特長です。今年度は、岡崎忠彦氏(株式会社ファミリア代表取締役社長)が講師として研究課題を提示し、学生と討議します。

プロジェクトゼミに関するお問い合わせ先

甲南大学経済・法・経営学部合同事務室(経済学部担当)
TEL : 078-435-2758 E-mail : keizai@adm.konan-u.ac.jp

Voice of Students

ここに掲載しているのは、2017年度のプロジェクトゼミを履修した学生が学期末に提出した課題レポートからの抜粋です。レポートのテーマは、「この授業を履修する前の、過去の自分を読者として想定しながら、次年度の履修者に対するアドバイスやメッセージを1,000字程度の文章としてまとめる」というもの。彼らの言葉から、プロジェクトゼミの真実さと情熱を感じてみてください。

履修した全員が「学んだ」「成長した」といえるものが、必ずある。 ゼミの枠を超えた学びがある。



学べることは
一人ひとり違う。
迷っているなら
履修すべき。

本気でやればやるほど、
多くの学びと楽しさがある。
大変な分だけ得られるものがある。



楽な道だけを
選択しては
ならない。

終わったら言える。
「全力だったことは楽しかった」と。

誰にでも必要となる。
誰もが一歩
進めるようになる。

第一に、知識をきちんと
身につけようとする。こと。
第二に、メンバー同士で
協働して動くこと。



自分の力不足を
痛感させられる。

悩みがあるということは
自己分析ができている証拠。
悩みを解決する決意があるならば、
履修する理由としては十分。



これまでのプロジェクトゼミにご協力いただいた企業経営者のみなさま

2014年度



サントリー
ホールディングス
株式会社

代表取締役副会長

鳥井 信吾 氏

(1975年理学部卒業)

研究テーマ
「甲南大学の生き残り戦略」

2014年度



モロゾフ
株式会社

代表取締役社長

山口 信二 氏

(1981年経済学部卒業)

研究テーマ
「女性が活躍する社会」

2015年度



ミズノ
株式会社

相談役会長

水野 正人 氏

(1966年経済学部卒業)

研究テーマ
「ニュービジネスの可能性」

2016年度



小林製薬
株式会社

代表取締役副会長

小林 豊 氏

(1968年文学部卒業)

研究テーマ
「何が企業の失敗と成功を
分かつのか？」
～21世紀のあるべき
企業戦略を考える」

2017年度



象印マホービン
株式会社

代表取締役社長

市川 典男 氏

(1981年経済学部卒業)

研究テーマ
「甲南の改革
～変えなくてはならないこと、
変えてはならないこと」